

## 市街地に映える逆さ富士

1) 施設名 (用途)	静岡県富士山世界遺産センター (多目的交流施設等)
2) 所在地	富士宮市宮町 5-12
3) 事業実施主体	静岡県 (富士山世界遺産課)
4) 設計者	(株)坂茂建築設計 (東京都)
5) 施工者	佐藤工業(株) (東京都)・(株)若杉組 (掛川市) JV
6) 施工期間	平成 28 年 3 月～平成 29 年 11 月
7) 施設概要	施設は、平成 25 年に富士山が世界文化遺産に登録されたことを踏まえ、国内外への情報発信拠点として計画され、富士山本宮浅間大社に隣接する市街地にオープンした。 逆さ富士の形をした展示室は、全長 193m のらせん状のスロープが続き、富士登山の疑似体験ができる。
8) 規模 (延面積)	鉄骨造 地上 5 階建て (3,410.98 m <sup>2</sup> )
9) 主な使用樹種	ヒノキ
10) 施設の特徴等	中央の展示棟の木格子は、丸太 4,385 本・材積 670 m <sup>3</sup> のフジヒノキが、緻密に計算された約 8,000 ピース・材積 74 m <sup>3</sup> に加工され、組み上げられている。 地域ブランド材を使用した木格子は、SGEC/PEFC CoC プロジェクト認証の国内第 1 号に認定された。

### 【施設の画像】

施設の全景 (上)、逆さ富士を模した木格子 (右下)、最上階の展望ホールからの眺望 (左下)

